

基礎演習 1

責任者・コーディネーター	創薬有機化学分野 河野 富一 教授		
担当講座・学科(分野)	創薬有機化学分野、分子細胞薬理学分野、薬物代謝動態学分野、分析化学分野、機能生化学分野、天然物化学分野		
対象学年	2	区分・時間数	講義 18 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

2 学年で履修する科目は、上位学年での学びの基盤科目となるものが多い。本講義では、特に、2 学年前期に履修した科目の要点整理をおこない、実践的な知識基盤の強化を図る。

・教育成果（アウトカム）

物理、化学、生物、薬理学および衛生化学の学修を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することで、基本的知識の確固たる基盤を形成することができる。また、そうして得た知識基盤を 2 学年後期配当科目の理解に生かすことで、科目間連携を意識できるようになるとともに、関連科目の内容も理解し、説明できるようになる。
(ディプロマ・ポリシー：2,3,4,5,6,7,8)

・到達目標（SBO）

基礎薬学分野 : 物理、化学、生物系の薬学専門関連科目の SBOs
 医療薬学分野 : 薬理学薬学専門科目の SBOs
 衛生薬学分野 : 衛生系の薬学専門科目の SBOs

・講義日程

(矢) 西 106 1-F 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/11	水	3	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	イントロダクション 【ICT (Google Forms, Moodle)】 事前学修：2 年前期に履修した科目を再確認しておくこと。 事後学修：配布プリントの内容を再確認すること。

9/18	水	4	創薬有機化学分野	稲垣 祥 助教	<p>2 年前期に開講された「有機薬化学 1」の範囲についての復習と問題演習 1.「有機薬化学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】 事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
10/18	金	4	薬物代謝動態学分野	寺島 潤 講師	<p>2 年前期に開講された「薬理学 1」の範囲についての復習と問題演習 1.「薬理学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】 事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/1	金	2	分子細胞薬理学分野	高橋 巖 特任講師	<p>2 年前期に開講された「微生物学」の範囲についての復習と問題演習 1.「微生物学」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】 事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/8	金	2	分子細胞薬理学分野	高橋 巖 特任講師	<p>2 年前期に開講された「細胞生物学」の範囲についての復習と問題演習 1.「細胞生物学」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】 事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>

11/12	火	3	薬物代謝動態学分野	寺島 潤 講師	<p>2 年前期に開講された「薬理学 1」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「薬理学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/21	木	2	機能生化学分野	關谷 瑞樹 准教授	<p>2 年前期に開講された「生化学 1」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「生化学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/25	月	4	機能生化学分野	關谷 瑞樹 准教授	<p>2 年前期に開講された「生化学 2」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「生化学 2」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/29	金	4	天然物化学分野	浅野 孝 助教	<p>2 年に開講された「食品衛生学」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「食品衛生学」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>

12/3	火	4	薬物代謝動態学分野	寺島 潤 講師	<p>2 年前期に開講された「薬理学 1」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「薬理学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
12/9	月	4	分析化学分野	藤本 康之 准教授	<p>2 年前期に開講された「分析化学 1」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「分析化学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
12/12	木	4	創薬有機化学分野	稲垣 祥 助教	<p>2 年前期に開講された「有機薬化学 1」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「有機薬化学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	2 年前期に使用した教科書			

・成績評価方法

各講義で実施される確認テスト（85%）とレポート（15%）で評価する。
 なお、各講義で実施される確認テストの総合平均が 70 点（100 点満点換算）を超えた者にのみレポートの点数を加算する。定期試験は実施しないが、再試験は再試験期間中に実施する。

・ 特記事項・その他

授業に対する予習・復習にはそれぞれ1時間程度を要する。詳細な予習・復習の方法を初回講義時に説明する。講義後にフィードバックとして Moodle に概況等を掲載する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	デジタル板書およびスライド投影のため